



Business Report



第150期中間報告書 平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

名古屋鉄道株式会社

ごあいさつ

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第150期の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当上半期のわが国経済は、円安・株高の進行により、企業収益や雇用情勢などに改善が見られたものの、原材料価格の上昇懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは積極的な営業活動と経営の合理化に努めた結果、当上半期の営業収益は前年同期に比べ0.1%減の2,855億7千7百万円、営業利益は14.4%増の160億5千1百万円、経常利益は20.5%増の151億9千9百万円となり、四半期純利益は13.8%減の56億8千3百万円となりました。また、当社単体の営業収益は4.1%増の518億6千2百万円、営業利益は23.9%増の87億6千5百万円、経常利益は61.1%増の113億2千1百万円となり、四半期純利益は41.5%増の48億5千万円となりました。

なお、当期の配当につきましては、先に公表いたしましたとおり、中間配当は見送りとし、期末に実施をする予定としておりますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

下半期においても、経済情勢の先行きは依然として不透明ではありますが、現名鉄グループ中期経営計画「PLAN120」に掲げる重点テーマ「名駅再開発に向けた成長戦略の構築」、「グループの核である交通事業の強化」、「沿線を中心とした地域活性化の推進」、「グループ経営の強化」に着実に取り組んでまいります。

当社は、「PLAN120」の最終年度である平成26年度に創業120周年を迎えます。これからも永く社会に貢献し、地域から愛される企業集団として存続していくため、これまで以上にグループ一丸となって努力し、一層の業績向上に向け全力を傾注してまいりますので、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

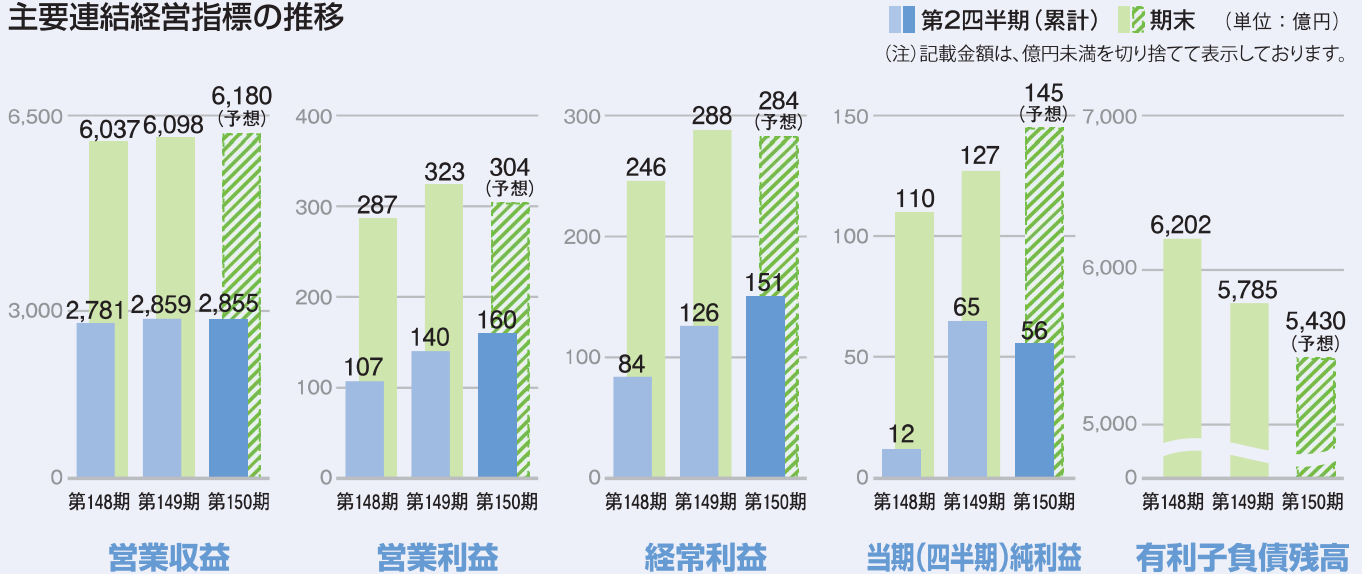


代表取締役社長
山本 亜土

平成26年3月期 第2四半期連結決算の概要

営業・経常増益となったものの、最終減益となりました。

主要連結経営指標の推移



平成26年3月期の見通し

■ 平成26年3月期 連結業績予想

企業収益や雇用情勢などの改善が見られ、景気は緩やかな回復傾向にあるものの、海外経済の下振れリスクが懸念されるなど、先行きには依然として不透明感が残る状況にあります。

以上を踏まえ、平成26年3月期の連結業績予想については、営業収益は6,180億円(前期比1.3%増)、営業利益は304億円(前期比6.0%減)、経常利益は284億円(前期比1.4%減)、当期純利益は145億円(前期比13.9%増)としております。また、平成26年3月期末の連結有利子負債残高については、5,430億円(前期比355億5千7百万円減)を見込んでおります。

営業収益	6,180 億円	前期比 1.3%増
営業利益	304 億円	前期比 6.0%減
経常利益	284 億円	前期比 1.4%減
当期純利益	145 億円	前期比 13.9%増

■ 配当見通し

平成26年3月期の配当については、中間配当は見送らせていただき、期末配当として1株につき4円を予想いたしております。

※上記の予想は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

名鉄グループの事業概況



交通事業

営業収益	796億29百万円 (前年同期比 0.7%増)
営業利益	91億13百万円 (前年同期比 12.8%増)

鉄軌道事業では、当社は、通勤型車両4000系を順次導入し、車両の更新を行ったほか、高架橋柱などの耐震補強工事や、都市計画事業の一環として高架化工事を進めるなど、安全面の強化に努めました。営業施策面では、常滑線全線開通100周年を記念して各種記念商品を販売したほか、「犬山キャンペーン」や「岐阜まち歩きキャンペーン」などの地域連携の沿線観光キャンペーンを各地で積極的に展開し、旅客の需要喚起に努めました。また、(株)名鉄インプレスの「野外民族博物館リトルワールド」などとの企画による「まるドキッ リトルきっぷ」を販売するなど、グループ各社とも連携して収益の確保に努めました。

バス事業では、名鉄バス(株)は、路線バスの「愛知淑徳大学線」や高速バスの「名古屋ー宇都宮・郡山線」の運行を、岐阜乗合自動車(株)は、関市・岐阜市とナガシマリゾートを結ぶ高速バスの「関ー長島線」の運行を開始しました。また、名鉄バス(株)では、全車両のドライブレコーダーとデジタルタコグラフを、一体型の次世代型安全対策機器に順次更新するなど、安全管理の強化にも努めました。



運送事業

営業収益	669億49百万円 (前年同期比 0.5%減)
営業利益	22億54百万円 (前年同期比 10.2%減)

トラック事業では、契約内容の見直しなどによる適正な運賃收受のための取り組みを強化し、収益性の向上を図りました。また、グループ各社間で重複する集配エリアの解消を引き続き進めるとともに、これまで各社ごとに開発していた業務・輸送システムの統一化を図るため、新たに合同プロジェクトとして情報システム開発室を立ち上げ、経営の合理化に取り組みました。

海運事業では、太平洋フェリー(株)は、本年4月に開設40周年を迎えた北海道航路（名古屋ー仙台ー苫小牧）で「就航40周年キャンペーン」を展開し、旅客の利用促進を図りました。



不動産事業

営業収益	305億16百万円 (前年同期比 12.0%減)
営業利益	26億70百万円 (前年同期比 6.8%増)

不動産賃貸業では、当社は、昨年7月に供用を開始した「名古屋クロスコートタワー」のほか、昨年8月から新規テナントの誘致を行った「名鉄バスターミナルビル」の賃料収入が寄与し、好調に推移しました。

また、名鉄協商(株)は、名古屋市と業務提携をして、市営住宅9団地にコインパーキングを順次設置するなど、顧客獲得に努めました。

不動産分譲業では、当社は、愛知県知多郡阿久比町の分譲団地「名鉄陽なたの丘 蒼空(そら)の街」の販売を引き続き実施しました。



レジャー・サービス事業

営業収益 271億40百万円 (前年同期比 3.1%増)

営業利益 8億24百万円 (前年同期比 142.7%増)

ホテル業では、(株)名鉄トヨタホテルは、7階宴会場フロアをリニューアルオープンし、新規顧客の獲得に努めました。また、名鉄イン(株)は、法人需要の増加により好調に推移したほか、インターネットを利用した積極的な営業活動により稼働率の向上に努めました。

観光施設の経営では、(株)名鉄インプレスは、本年3月に「野外民族博物館リトルワールド」に新規オープンした「トルコ イスタンブールの街」の人气が寄与し、入場者数が増加しました。また、(株)夫婦岩パラダイスは、伊勢神宮の式年遷宮効果により「二見プラザ」の利用者数が増加するなど、好調に推移しました。

旅行業では、海外旅行において、中国・韓国ツアーの冷え込みが依然として続くものの、国内旅行において、首都圏への旅行のほか、式年遷宮効果により伊勢神宮ツアーなどが好調に推移しました。



流通事業

営業収益 705億36百万円 (前年同期比 3.5%増)

営業利益 4億43百万円 (前年同期比 126.9%増)

百貨店業では、(株)名鉄百貨店は、一宮店において地下1階・4階フロアのリニューアルを行うなど、顧客獲得に努めました。

その他物品販売では、(株)名鉄アオト・(株)ケイビーエスアオトの輸入車販売において、積極的な営業活動により中古車販売が好調に推移しました。



その他の事業

営業収益 318億14百万円 (前年同期比 0.8%増)

営業利益 4億48百万円 (前年同期比 279.8%増)

その他の事業では、設備工事の減収があったものの、調査測量事業で前年同期に比べ受注が増加したほか、システム開発が好調に推移し、増収となりました。

平成26年3月期 第2四半期連結決算の要旨

■ 四半期連結貸借対照表の要旨

(平成25年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	159,466	流動負債	345,152
現金及び預金	9,369	支払手形及び買掛金	50,293
受取手形及び売掛金	49,983	短期借入金	159,896
分譲土地建物	61,764	1年以内償還社債	10,000
その他のたな卸資産	11,669	その他	124,961
その他	26,679	固定負債	506,380
固定資産	934,844	社債	109,989
有形固定資産	814,914	長期借入金	264,280
建物及び構築物	317,248	再評価に係る繰延税金負債	63,849
土地	366,711	退職給付引当金	28,539
その他	130,954	その他	39,721
無形固定資産	11,407	負債合計	851,532
投資その他の資産	108,522	(純資産の部)	
投資有価証券	83,793	株主資本	148,568
繰延税金資産	10,039	資本金	84,185
その他	14,690	資本剰余金	18,428
		利益剰余金	46,719
		自己株式	△ 765
		その他の包括利益累計額	75,969
		その他有価証券評価差額金	13,136
		繰延ヘッジ損益	11
		土地再評価差額金	62,858
		為替換算調整勘定	△ 37
		少数株主持分	18,241
		純資産合計	242,778
資産合計	1,094,310	負債純資産合計	1,094,310

■ 四半期連結損益計算書の要旨

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	285,577
営業費	269,526
営業利益	16,051
営業外収益	3,007
営業外費用	3,858
経常利益	15,199
特別利益	1,203
特別損失	5,513
税金等調整前四半期純利益	10,890
法人税、住民税及び事業税	3,826
法人税等調整額	981
少数株主損益調整前四半期純利益	6,081
少数株主利益	398
四半期純利益	5,683

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,244
現金及び現金同等物に係る換算差額	12
現金及び現金同等物の減少額	1,124
現金及び現金同等物の期首残高	9,710
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,590

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成26年3月期 第2四半期個別決算の要旨

■ 四半期貸借対照表の要旨

(平成25年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	21,411	流動負債	169,532
現金及び預金	2,015	短期借入金	80,533
未収金	2,192	1年以内償還社債	10,000
分譲土地建物	10,795	前受金	46,384
その他	6,407	その他	32,615
固定資産	743,126	固定負債	410,174
鉄軌道事業固定資産	384,983	社債	109,989
開発事業固定資産	152,320	長期借入金	218,108
各事業関連固定資産	5,671	再評価に係る繰延税金負債	57,418
建設仮勘定	51,626	その他	24,658
投資その他の資産	148,524	負債合計	579,707
関係会社株式	97,371	(純資産の部)	
投資有価証券	48,428	株主資本	113,215
その他	2,724	資本金	84,185
		資本剰余金	16,673
		利益剰余金	13,104
		自己株式	△ 748
		評価・換算差額等	71,614
		その他有価証券評価差額金	11,528
		土地再評価差額金	60,086
		純資産合計	184,830
資産合計	764,537	負債純資産合計	764,537

■ 四半期損益計算書の要旨

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	51,862
営業費	43,097
営業利益	8,765
営業外収益	5,703
営業外費用	3,146
経常利益	11,321
特別利益	286
特別損失	4,480
税引前四半期純利益	7,127
法人税、住民税及び事業税	595
法人税等調整額	1,680
四半期純利益	4,850

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

太陽光発電事業に参入!!

当社では、本年10月から、保有資産の有効活用を目的として、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用した太陽光発電事業を開始しました。自社所有地2カ所に、名鉄新居弁天太陽光発電所と名鉄布土太陽光発電所を建設し、中部電力(株)への売電を行っています。

また、中央設備エンジニアリング(株)が、豊橋鉄道(株)の所有地で本年8月から発電事業を行っているほか、名鉄協商(株)は、名古屋市の自社建物の屋根を活用して、本年2月から発電事業に取り組んでいます。

名鉄新居弁天太陽光発電所

所在地／静岡県湖西市
敷地面積／約15,000㎡
年間発電量／約981,000kWh（一般家庭約270世帯相当）

名鉄布土太陽光発電所

所在地／愛知県知多郡美浜町
敷地面積／約14,000㎡
年間発電量／約813,000kWh（一般家庭約220世帯相当）

名鉄新居弁天太陽光発電所

名鉄名古屋駅にて デジタルサイネージを活用した広告を開始！



名鉄名古屋駅 中央改集札口前コンコース

当社では、本年10月から名鉄名古屋駅中央改集札口前コンコースにおいて、デジタルサイネージを活用した広告を開始しました。

これは、同コンコースの柱11本に70インチ（高さ1.6m×幅0.9m）のディスプレイを計22面設置する当社初の試みです。今後、視覚効果の高い情報発信ができる広告スペースとして、同コンコースの活用を図っていきます。

※デジタルサイネージ…表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイなどによって映像や情報を表示する広告媒体



常滑線の全線開通100周年

常滑線は、神宮前駅から常滑駅までを結ぶ総延長29.3kmの路線で、古くから臨海地区で生産される陶器の輸送により、また、名古屋市街地への移動手段として発展してきました。近年は、中部国際空港（セントレア）の開業により、空港へのアクセス路線として一段と大きな役割を担うようになりました。沿線では太田川駅周辺やりんくう常滑地区で開発が進められており、今後の更なる飛躍が期待されます。

明治45年

新舞子で開通祝賀式を開催



大正2年

大野～常滑間5.2km開通



大正2年

神宮前～秋葉前間0.6km開通



大正14年

新舞子で住宅分譲開始



平成23年

太田川高架駅完成



昭和59年

神宮前～大江間2.3km高架化工事完了



昭和34年

伊勢湾台風で全線に被害



大正2年の全線開通から100周年を迎えた本年8月31日に、常滑駅において記念発車式を執り行い、知多半島のイメージキャラクター「知多娘。」による司会進行のなか、関係者による発車合図を行いました。このほかにも、100周年を記念したグッズの販売や各種イベントを実施しました。





「ナナちゃんストリート」利用拡大!



当社と(株)名鉄百貨店では、名鉄百貨店メンズ館・LABI名古屋前のスペースを「ナナちゃんストリート」と名づけて、積極的な有効活用に取り組んでいます。

企業向け広告スペースのほか、本年6月からは、名駅地区の価値向上や地域との連携につながるイベント・活動にも利用範囲を拡大し、周辺エリアの活性化を目指していきます。



民間学童保育「アスキッズ植田」をオープン!

(株)名鉄インプレスでは、民間学童保育サービス「めいてつアスキッズ」を開始し、その第1弾として、本年3月に、名古屋市天白区に「アスキッズ植田」を開校しました。保護者の方にお子さまの到着・帰宅をメールでお知らせする「あんしんメールサービス」のほか、外国人講師による英会話レッスンやオリジナルの体験プログラムを提供し、児童期の人間形成に寄与できる場を目指します。



「登下校ミマモルメ」提供開始!



(株)メイテツコムでは、阪神電気鉄道(株)との業務提携により、本年6月から「登下校ミマモルメ」のサービス提供を開始しました。「登下校ミマモルメ」は、ICタグを持ったお子さまが登下校の際に校門を通過すると、事前に登録したメールアドレス宛てに自動的にメールが送信されるものです。今後順次、各学校への展開を予定しています。

会社情報

(平成25年9月30日現在)

会社概要

設立年月日	大正10年6月13日
本店所在地	名古屋市市中区名駅一丁目2番4号
資本金	84,185,525,064円
発行済株式総数	881,584,825株
株主数	88,060名
事業内容	鉄軌道事業、開発事業
従業員数	5,021名
ホームページアドレス	http://www.meitetsu.co.jp/

役員

河野英雄	代表取締役会長
山本亜土	代表取締役社長
松林孝美	代表取締役副社長 〔グループ統括本部長、グループ監査部・東京支社・秘書室・広報部・総務部・財務部・人事部・名鉄病院総括〕
安藤隆司	代表取締役専務 〔不動産事業本部長〕
大西哲郎	代表取締役専務 〔鉄道事業本部長〕
内田 互	常務取締役 〔財務部長〕
高木英樹	常務取締役 〔鉄道事業本部副本部長兼計画部長〕
柴田 浩	常務取締役 〔広報部長兼総務部長、東京支社・秘書室担当〕
拝郷寿夫	取締役 〔事業企画部長〕
岩瀬正明	取締役 〔事業推進部長〕
高田恭介	取締役 〔鉄道事業本部副本部長〕
高崎裕樹	取締役 〔不動産事業本部副本部長兼賃貸事業部長〕
鈴木清美	取締役 〔鉄道事業本部副本部長兼土木部長〕
舟橋雅也	取締役 〔事業企画部予算管理担当部長兼財団担当部長、グループ監査部担当〕
岡部 弘	社外取締役
河原英穂	常任監査役(常勤)
小笠原敏彦	常任監査役(常勤)
岡谷篤一	社外監査役
川口文夫	社外監査役
佐々和夫	社外監査役

株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日

期末配当の基準日は毎年3月31日です。また、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とします。

※当期(第150期)の中間配当につきましては、見送らせていただきました。

定時株主総会の基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日です。

公告方法

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、中日新聞に掲載して行います。

* 電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.meitetsu.co.jp/profile/koukoku/>

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先・電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 ☎0120-782-031

(受付時間：平日9:00～17:00)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主ご優待制度のご案内



当社の株主ご優待制度には、3,000株以上の株主様に、ご所有株数に応じて半年毎に贈呈する株主優待乗車証と、1,000株以上の株主様に、年1回一律で贈呈する株主ご優待券があります。

1 株主優待乗車証 優待基準









権利確定日	贈呈時期	有効期限
3月31日	6月上旬	12月15日
9月30日	12月上旬	翌年6月15日

ご所有株数	株主優待乗車証の種類	贈呈枚数(半年)
3,000株以上 5,000株未満	電車線片道乗車証〔普通乗車券方式〕 ・名鉄電車線で、1枚につき1名様1回限りご利用いただけます。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。	2枚
5,000株以上 10,000株未満		6枚
10,000株以上 15,000株未満		12枚
15,000株以上 20,000株未満		18枚
20,000株以上 25,000株未満		24枚
25,000株以上 30,000株未満		30枚
30,000株以上 35,000株未満		36枚
35,000株以上 40,000株未満		42枚
40,000株以上 100,000株未満		電車・名鉄バス全線乗車証〔バス券方式〕 ・ご持参の1名様にご利用いただけます。 ・名鉄バス線のバス路線には、高速バス路線などご乗車にならない路線があります。 ・各自治体のコミュニティバス路線などには、ご乗車になりません。 ・ご希望の株主様は、ICカード乗車券「manaca」への移し替えが可能です。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。
100,000株以上 500,000株未満	2枚	
500,000株以上 1,000,000株未満	5枚	
1,000,000株以上	10枚	

2 株主ご優待券 優待基準



権利確定日	贈呈時期	有効期限
3月31日	6月下旬	翌年6月30日

ご所有株数	株主ご優待券の内容	贈呈枚数(年)
1,000株以上一律	〔電車線株主招待乗車証〕 名鉄電車線で、1枚につき1名様1回限りご利用いただけます。 	4枚
	〔リトルワールド、日本モンキーパーク、南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国の共通招待券〕 1枚で1名様1施設でご利用いただけます。 	6枚
	〔名鉄グループホテル・旅館宿泊優待割引券：20～30%割引〕 当社指定の名鉄グループホテル・旅館の1泊に、1枚で同時に4名様までご利用いただけます。 	4枚
	〔名鉄グループホテル飲食優待割引券：10%割引〕 当社指定の名鉄グループホテルでのご飲食時、1枚で同時に4名様までご利用いただけます。 	4枚
	〔名鉄観光サービス募集型企画旅行商品優待割引券：5～6%割引〕 パノラマトライやジャンボマーチなど、名鉄観光サービス㈱の指定旅行商品を同社の店頭で購入する場合に限ります。1枚で同時に2名様までご利用いただけます。 	2枚
	〔名鉄百貨店の買物優待券：10%割引〕 食料品や特別奉仕品、一部ショップなど、割引除外の商品・店舗があります。100円未満の金額についての割引はございません。 	18枚